

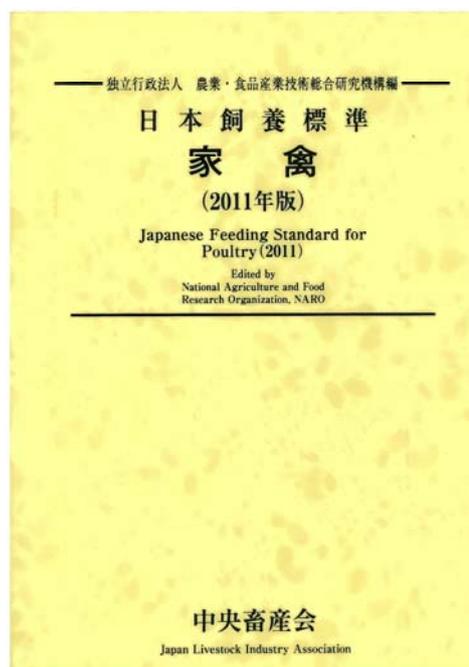
改訂された日本飼養標準・家禽（2011年版）

日本飼養標準は、わが国で飼養されている家畜・家禽の成長過程や生産性などに応じた適正な養分要求量を示したものであり、わが国における家畜・家禽飼養管理の基本となるものです。本シリーズは、家畜等の種類ごとに、農業・食品産業総合研究機構（農研機構）において改訂作業を行っており、この度、家禽の2011年版を公表いたしました。

☆ 技術の概要

約7年ぶりの改訂では、昨今の家禽の能力向上、飼養鶏種の変化や飼養技術の進歩に伴い、養分要求量の見直しや解説事項の充実が図られました。

1. 近年、飼養が増加している赤玉の産卵鶏におけるエネルギー、タンパク質やカルシウム等の養分要求量は白玉の産卵鶏における算出式から求めうることが確認され、適応範囲が拡大されました。
2. 解説事項の充実では、「養分要求量に影響する因子」および「飼養管理技術と関連するトピックス」の2つの章の中に新しい知見や最近の成果を取り入れました。具体的には、「暑熱環境と酸化ストレス」、「飼育施設等の情報（飼育方式、鶏舎構造、鶏舎の換気と暑熱・防寒対策）」、「アニマルウェルフェアに配慮した誘導換羽法」、「地鶏の飼育」他の飼養管理関連情報、「衛生害虫に係る情報の更新（ワクモやトリサシダニに関する情報等）」、「最新の総合ワクチネーションプログラム」他の衛生関連情報、「プロバイオティクス・プレバイオティクス」、「飼料用米とエコフィード」他の飼料原料関連情報を追加・更新しました。
3. ウズラ、アヒル、ダチョウに関する情報を「鶏以外の家禽の養分要求量」として一つの章にまとめて利便性の向上を図りました。



☆ 活用面での留意点

詳細あるいは購入については、中央畜産会（03-6206-0846）にお問合せください。

（（独）農研機構 畜産草地研究所 家畜生理栄養研究領域 村上 斉）